

第三者意見

THK CSRレポート 2017を拝読する機会を得ました。マネジメント体制、社会との関わり、環境との調和という3つの軸で、「世にない新しいものを提案し、世に新しい風を吹き込み、豊かな社会作りに貢献する」という経営理念が達成されるよう着実に努力されていることがわかりました。レポートの中でとりわけ興味深かったのは「お客様の声」で、医療機器、再生可能エネルギー、免震・制震装置、ロボットといった新規分野において、ユーザーがTHK社との協創による物作りをされていることです。

筆者のTHK社とのおつきあいは20年ほど前、同社が工作機械に採用されてきた直動システムを建物免震へ適用しはじめた頃からになります。免震というアイデア自体は大昔からあるものですが、現代の免震は20世紀後半に西欧で積層ゴムが発明されたことに端を発します。地震国日本において免震は輸入ものです。その中でTHK社の免震装置は日本オリジナルの装置として、免震の新しい可能性を広げています。免震・制震が、現在、THK社の事業のひとつの柱となっていることは感慨深いものがあります。

現在、筆者が勤務する日本大学理工学部お茶の水キャンパスでは、免震と制震を組み合わせた新校舎が建設中です。構造計画のコンセプトは100年建築、即ち大地震発生後も建物機能を維持、継続利用が可能な高耐震、高耐久の長寿命建築を目指すものです。免震層にはTHK社のCLB免震装置、上部構造には世界初の部分モード制震システムを実現するD.M.ダンパー (i-RDT)が装着されます。

数年前に紹介いただいた二次元免震モジュールTGS型もTHK社の姿勢がよく表れていると考えています。いわゆる機器免震用の免震床、免震台といわれるものですが、これを目的とする製品は本製品以外にも存在しています。ここで重要なのは確実に機

能する免震床であることです。本装置の特徴は支承機能に機械部品として多くの実績をもつLMガイドを用いていること、使用条件や想定地震動に合わせて免震機能の復元力、減衰力が設計できること、そして何よりも重要なことは、三次元振動台試験により、地震動の三方向入力実験を行って作動を確認していることです。レポートによると、実際の震災(2016年熊本地震)でもユーザー企業のBCPに役立っているとのことで優れた製品による社会貢献の例といえましょう。

以上は、筆者の専門分野での経験からTHK社とのおつきあいを振り返ったものですが、本レポートを拝見すると、ユーザーとの同様な協創関係が医療機器、再生可能エネルギー、ロボット等、種々の新規分野でも進んでいることが理解されました。

現在、人類は人口、資源、環境といった逼迫した問題に直面しています。さらに近年顕著になりつつあるように思えるのは、情報のはん濫による科学者・技術者等の専門家と一般市民、企業と一般市民、ひいては国家と一般市民との間の信頼関係の揺らぎです。多様な情報のはん濫のなかで、専門家、企業、国などが社会への説明責任を果たすことが難しくなっています。専門家の提案が社会から了解されない、企業が問題への対応を誤りその存在が危うくなる時代です。専門家、企業、国家と市民と信頼関係が揺らぐと地球規模の課題の解決は難しくなります。人口、資源、環境問題のほかに文明の脆弱性のようにも思われます。このような時代にあってCSR活動はますます重要な役割を果たします。THK社にはCSR活動をより活発化、充実し、信頼される専門家集団、信頼される企業としてステークホルダーとともに持続的な社会作りに役立っていただきたいと願います。



日本大学理工学部建築学科 教授 博士(工学)

古橋 剛 様
Takeshi Furuhashi

1954年生まれ。1978年東京大学工学部建築学科卒業。
1978年住友建設株式会社入社、2003年会社合併により三井住友建設、建築物の構造設計、構造技術開発、免制震構造物の設計及び免制震技術開発に従事。2007年日本大学理工学部建築学科准教授、2011年同教授、現在に至る。
専門分野は、免震・制震構造物、構造物の振動制御、特にダイナミック・マスによるモード制御、これらの研究・開発により「建築物の応答制御を通して、長寿命建物の実現」を目指している。

編集後記

経営理念に基づく本業が当社のCSRであることを再確認するため、本号でも医療機器、再生可能エネルギー、免震装置、ロボットをご使用いただいたお客様の声を掲載しました。また、ステークホルダーの皆様方に信頼されるコーポレートガバナンスやコンプライアンス体制の構築、従業員の能力を伸ばす仕組み、地域社会への貢献、地球温暖化防止や人体に悪影響を及ぼす化学物質の使用禁止への取り組み等をまとめました。

今後もステークホルダーの皆様方の信頼を得られる取り組みを行い、またその情報開示を

適切に行っていく所存です。つきましては、今回のレポートが読者の皆様方にどのように映ったのかご意見を賜りたく存じます。貴重なご意見は今後のCSR活動やレポート作成の参考にさせていただきたいと思っております。ご高覧のうえ、忌憚のないご意見・ご感想を同封のアンケート用紙にてお寄せいただければ幸いです。

CSRプロジェクト事務局
(次回発行予定2018年6月)

THK株式会社

〒141-8503 東京都品川区西五反田3-11-6
TEL. 03-5434-0300 FAX. 03-5434-0305

新本社(10月に移転)

〒108-8506 東京都港区芝浦2-12-10 THKビルディング
TEL. 03-5730-3911 FAX. 03-5730-3915

URL: <http://www.thk.com/jp/>

